

疏及聶氏三禮圖、乾道六經圖等書、皆不言壺定用何材、木謂之壺、未<sup>○</sup>知何據、<sup>○</sup>中按廣韻、坩、甌、又云、甌、鬯、甌、故坩或曰甌、鬯也、禮器注、壺大一石、瓦甌五斗、玉篇、甌、盛五升小鬯也、按說文、無甌字、淮南汜論訓、抱甌而沒、高誘注、甌、武也、今兗州謂小武爲甌、士喪禮下、甌二、鄭注、甌、瓦器、古文甌皆作廡、則知古借用武廡字、<sup>○</sup>中略以上蓋皆漢語抄文、引格證坩之爲壺也、按垂拱留司格六卷、裴居道等奉勅撰、見唐書、今無傳本、

〔東雅<sup>十一</sup>器用〕壺ツボ 倭名鈔漆器の類に、周禮注を引て、壺はツボ所以盛飲也と注し、又瓦器の類に、楊氏漢語抄を引て、坩はツボ壺也、今按するに、木謂之壺、瓦謂之坩と注せり、壺といひ坩といふ、古制は知るべからず、ツボとは其形の圓なるをいひしと見えたり、古の俗、凡物の形圓なるを呼びて、ツボといひツボといふ、圓讀みてツブラといひ、粒讀みてツブといひ、水沫をミツボといひ、草木の蓓蕾をツボミといふが如き、皆是也、壺の如きも古にはツブといひ、けり、日本紀に、壺此にツブといふと注せられし即是也、

〔延喜式<sup>十七</sup>內匠〕銀器

酒壺一合、<sup>受一斗</sup>料銀大七斤八兩、炭二石、和炭七斛五斗、油八合六勺、長功卅四人、<sup>火工十二人、鑿四人、夫十</sup>

二、中功卅九人、<sup>夫十三人、</sup>短功卅三人、<sup>夫十四人、</sup>

伊勢初齋院裝束

大壺一合、料漆四合、絹一尺、綿六兩、細布一尺五寸、掃墨三合、燒土五合、單功四人、

賀茂初齋院并野宮裝束

白銅酒壺一合、<sup>受一斗</sup>料白銅大廿斤、油五合、鐵三廷、炭卅斛、和炭一斛、信濃布一丈五尺、麻繩一了、伊豫

砥一顆、長功五十人、中功五十五人、短功六十人、

〔延喜式<sup>二十三</sup>民部〕凡太宰府年料造進、<sup>○</sup>中黑漆提壺十四口、